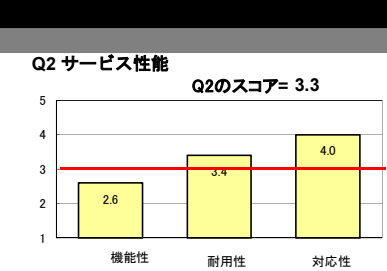
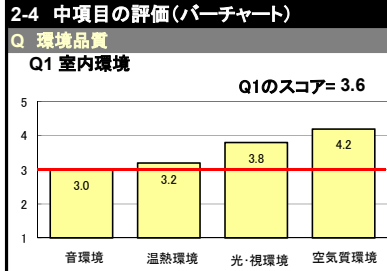
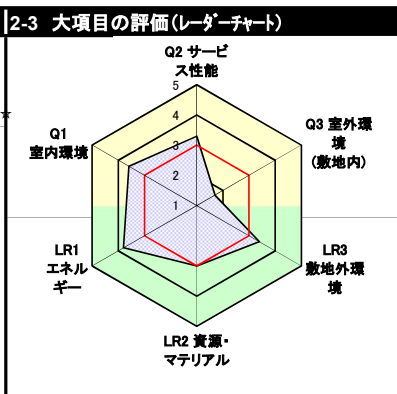
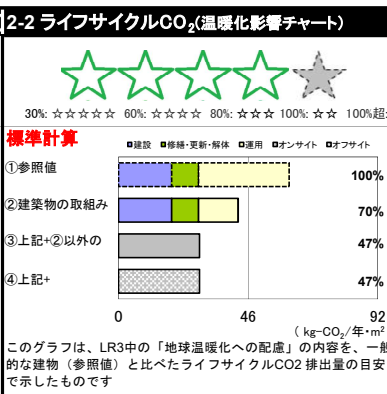
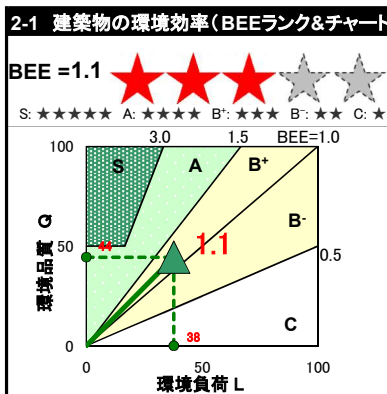
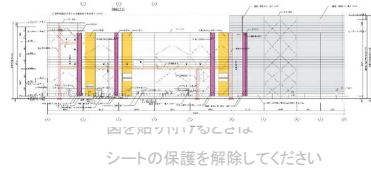


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第一三共プロファーマ(株)平塚工場原業製造棟	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市新町 622-1、161-1、161-5、161-9、161-10、161-11、221-1、222-2、222-3、282-1、282-4、300-3、302-1、302-2、404-1、221-6、404-4、471-1、471-7、221-3、161-6、161-7、161-8、222-4、471-6(計 25 筆)	構造	S造
用途地域	工業専用地域、市街化区画	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2023年5月31日
敷地面積	7,134 m ²	作成者	大成建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	4,309 m ²	確認日	2023年8月17日
延床面積	10,799 m ²	確認者	大成建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
高効率な設備機器、節水器具を積極的に採用し、省エネ性能に配慮している。また、階高に余裕を持たせゆとりのある計画としている。	太陽光発電設備を設置している。
Q1 室内環境 事務室は昼光率が高い設計となっている。人検知センサーにより、照明制御を行っている。化学汚染物質の少ない建材を採用している。	Q2 サービス性能 十分なスペースの休憩室を確保している。階高を高く確保しており、空間にゆとりが感じられる。ISSにより仕上材を痛めずに配管の更新を行う事ができる。
Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に積極的な緑化を行っている。排気が高温となる空冷チャラーや空調室外機は、建物の高い位置に設置している。	LR1 エネルギー 設備システムの高効率化を図っている
LR2 資源・マテリアル 節水型便器や自動水栓を採用し、節水に配慮した計画となっている。仕上材、躯体、設備が錯綜しておらず、部材の再利用可能性の向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な自転車置場と駐車スペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。

総合	その他
高効率な設備機器、節水器具を積極的に採用し、省エネ性能に配慮している。また、階高に余裕を持たせゆとりのある計画としている。	太陽光発電設備を設置している。
Q1 室内環境 事務室は昼光率が高い設計となっている。人検知センサーにより、照明制御を行っている。化学汚染物質の少ない建材を採用している。	Q2 サービス性能 十分なスペースの休憩室を確保している。階高を高く確保しており、空間にゆとりが感じられる。ISSにより仕上材を痛めずに配管の更新を行う事ができる。
Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に積極的な緑化を行っている。排気が高温となる空冷チャラーや空調室外機は、建物の高い位置に設置している。	LR1 エネルギー 設備システムの高効率化を図っている
LR2 資源・マテリアル 節水型便器や自動水栓を採用し、節水に配慮した計画となっている。仕上材、躯体、設備が錯綜しておらず、部材の再利用可能性の向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な自転車置場と駐車スペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される